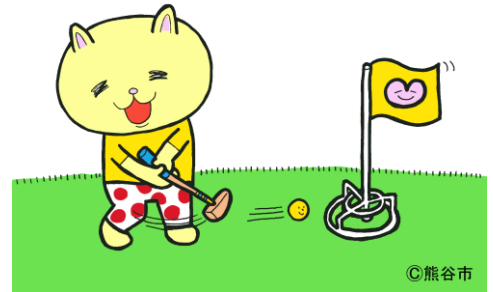
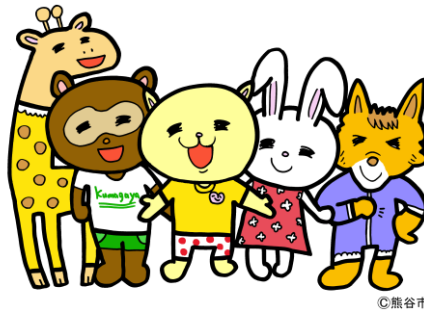


# くまがや市民 まごころ運動推進奨励金 利用の手引き

令和2年度版



## お問い合わせ

熊谷市役所市民活動推進課（市役所4階）  
〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1  
☎048-524-1129（直通）

# 1. まごころ運動推進奨励金制度が変わります

【令和元年度まで】

事業名	対象校区	交付金額
まごころ運動推進事業 (まごころ運動推進奨励金)	全校区	均等割+人口割 15万2千円~25万4千円 (健全育成事業加算金含む)
地域づくり応援事業 (地域づくり応援事業報奨金)	地域づくり応援事業に 応募し、審査会で承認された校区	上限 10万円



「まごころ運動推進事業」は、「青少年健全育成事業」と「地域づくり応援事業」を含め、一本化して奨励金を交付します。

【令和2年度から】

事業名	対象校区	交付金額
まごころ運動推進事業 (まごころ運動推進奨励金)	全校区	均等割+人口割 18万円~33万円

## 主な変更点

- ① 交付上限額が変わります。
- ② 申請書及び実績報告書の様式が変わります。
- ③ 収支決算書に監事の署名があれば、実績報告書への領収書の添付は省略できます(帳簿は確認させていただきます。)
- ④ 地域づくり応援事業として実施していた事業は、まごころ運動推進事業で継続することもできます。  
まごころ運動の一事業として計画していただき、予算を立ててください。



## 2. 制度の概要

### 校区連絡会の活動を支援するための2つのメニュー

制度名	対象校区	交付金額
1 まごころ運動推進奨励金	全校区	18万円 ～33万円
2 地域計画事業加算金	地域計画を策定し5年間にわたり事業を実施する校区	毎年100万円 が上限

### (1) まごころ運動推進奨励金について

まごころ運動推進奨励金とは？

校区連絡会の活動を支援するための奨励金で、全ての校区が交付対象となります。

#### ①奨励金額は？

18万円～33万円の交付を受けることができます。

(全校区連絡会に一律15万円+校区区域内人口により3万円～18万円)

なお、実績報告の結果、奨励金対象経費の合計額が交付決定額を下回った場合は、次年度の交付上限額が変更になります(次年度の交付上限額から下回った金額を差し引きます。)

#### ②健全育成事業加算金について

まごころ運動推進奨励金として交付する額の中には青少年健全育成事業に対する助成金も含まれます。

昨年度までは、交付上限額の内訳として「まごころ運動推進奨励金」及び「健全育成事業加算金」それぞれの内訳をお知らせしていましたが、今年度からは全て合算した金額を交付上限額としてお知らせします。

市では、健全育成事業分として金額を定めませんので、各校区の事業に応じた予算を立ててください。



### ③奨励金の交付対象となる事業

まごころ運動推進奨励金は、校区連絡会が行う次の事業を交付対象とします。

交付対象となる事業	活動例
(1) 青少年の健全育成に関わる事業(※) (青少年健全育成事業)	子どもの見守り活動、教育講演会、体験教室等
(2) 地域住民のふれあいを深め、健全なコミュニティをつくるための事業 (地域ふれあい事業)	地域内グラウンド・ゴルフ大会、地区民体育祭、納涼祭、農業体験、スポレクフェスティバル参加等
(3) 地域計画策定のための事業及び活動 (地域計画策定のための事業)	地域計画策定委員会の会議、住民アンケートの実施・分析作業等
(4) 美化、清掃等の区域内の環境整備事業 (環境整備事業)	地域一斉清掃活動、のぼり旗設置、花いっぱい運動等
(5) その他公益上必要と認められる事業 (公益上必要な事業)	地域合同防災訓練等

※(1)青少年の健全育成に関わる事業については、必ず実施してください。

### ④事業の実施について

奨励金の交付を受けた校区連絡会は、会を構成する団体に奨励金を分配し、それぞれが独立した活動をするのではなく、校区連絡会が主体となり、事業を実施してください。

### ⑤申請額について

申請額は、事業計画に則した予算を立て、必要となる金額を記入してください。校区の必要額となるため、必ずしも上限額が申請額ではありません。

## ⑥対象となる経費

校区連絡会の活動に要する経費

- ・事業計画書、予算書に位置づけられている事業を実施するための経費
- ・校区を運営するための経費

	交付対象となる経費	例	備考
1	事務費	用紙代、インク代、コピー代、はがき代、切手代等	
2	謝金	外部講師、指導者への謝礼等	謝金は、支払った相手から領収書をお願いしてください
3	旅費	講師、指導者の活動場所までの交通費 校区連絡会に関係する研修等における交通費の実費 役員（研修）旅費	役員旅費を支払う場合は、旅費規程を制定してください
4	消耗品費	賞品、ビニール袋等	
5	備品購入費	概ね2万円以上の活動に必要な備品	
6	食糧費	茶菓代、昼食代等	会議や清掃活動、イベント従事者に対する茶菓、昼食代
7	原材料費	工作教室などの材料費 防災訓練での炊き出し用食材費等	
8	事業費	保険料、会場使用料、スポレクフェスティバル参加費等	
9	その他	事業において必要と認められる物品等の購入費	

## ⑦対象とならない経費

- ・校区に所属する団体や外部団体への資金提供
- ・領収書が発行できない経費
- ・用途が特定できない経費

## ⑧申請から実績報告までの流れ(必要書類等)

	内 容	時 期	説明ページ
1	前年度（令和元年度）の実績報告	事業完了後速やかに （令和2年4月30日 （木）まで）	
2	今年度の申請（以下の書類を提出） ・ 交付申請書（様式第1号） ・ 事業計画書（様式第2号） ・ 収支予算書（様式第3号） ・ 会則 ・ 役員名簿	実績報告確定後 令和2年5月29日（金） まで	P6～P8
3	市：奨励金の交付決定 ↓ 校区：請求書提出（様式第8号） ↓ 市：奨励金を支払い（振込）	請求書提出から 2～3週間で振込	P12
4	事業実施対象期間	4月～翌年3月末まで	
5	今年度の実績報告（以下の書類を提出） ・ 実績報告書（様式第5号） ・ 事業報告書（様式第6号） ・ 収支決算書（様式第7号） ・ 活動状況等を示す書類（写真等）	事業完了後速やかに （令和3年4月末日 まで）	P9～P11

## ⑨帳簿等の確認

実績報告書提出の際に、会計の詳細を確認させていただくこともありますので、帳簿（又は領収書）をご持参ください。写しの提出は必要ありません。

様式第1号（第6条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金交付申請書

年 月 日

熊谷市長 富岡 清 様

前年度の実績報告を  
提出後に申請  
(5月29日までに)

校区名 ○○○○校区連絡会

住 所 熊谷市○○1-40

会 長 熊谷 太郎 印

くまがや市民まごころ運動推進奨励金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 申請額

金 250,000 円

○申請額の上限は、均等割・人口割により算出します。  
○申請額は上限額以下とします。事業計画に則した予算を立て、必要となる金額を記入してください。

2 添付書類

- (1) 事業計画書（様式第2号）
- (2) 収支予算書（様式第3号）
- (3) 会則
- (4) 役員名簿

添付書類の(1)・(2)は、  
所定の様式あり  
⇒P7、P8へ

添付書類の(3)・(4)の  
様式は任意

# 事業計画書 記入例

様式第2号（第6条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金事業計画書

月日と場所は申請時点で分かる範囲で記入

校区名 ○○○○校区連絡会

人数を概数で記入

月 日	活動名	場 所	活動内容	参加 予定人数
年 間	こどもを見守る活動推進	地域内	見守り活動	○○○人
○月○日	役員会議	公民館	総会準備、事業について等	○○人
○月○日	総会	公民館	事業報告、決算、事業計画、 予算、役員等について	○○人
○月○日	花いっぱい運動	地域内		○○○人
○月○日	地域内グラウンド・ゴルフ大会	小学校校庭		○○○人
○月○日	夏休みこども教室	公民館		○○○人
○月○日	役員会議	公民館		○○人
○月○日	防災訓練	小学校校庭	避難誘導訓練、炊き出し、 心肺蘇生訓練等	○○○人
○月○日	スポレクフェスティバル 参加	スポーツ文 化公園	長縄跳び、グラウンド・ゴ ルフ参加	○○人
○月○日	講演会開催	小学校		○○○人
○月○日	環境整備	地域内	地域一斉清掃、美化活動、 交通安全看板設置等	○○○人
○月○日	総括会議	公民館	事業総括、次年度予定等協 議	○○人
合 計				○○○人（予定）



# 収支予算書 記入例

様式第3号（第6条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金収支予算書

校区名 〇〇〇〇校区連絡会

収 入

項 目	予 算 額	明	(単位:円)
1 奨励金	250,000	市からの交付	
2 繰越金	20,000	前年度からの繰越	
3 寄附金	30,000	自治会等団体からの補助	
4			
5			
収 入 合 計	300,000		

「1 奨励金」の金額は申請書の申請額と一致

3以降は該当がない場合は記入不要

奨励金対象経費（1～5）の合計額は、収入の「1 奨励金」と同額か上回るようにしてください。

説明欄には主な支出予定を記入

項 目		予 算 額	明
1 青少年健全育成事業		50,000	見守り活動、講演会、体験教室等
2 地域ふれあい事業	奨励金対象経費	65,000	地域内グラウンド・ゴルフ大会、地区民体育祭、納涼祭、農業体験等
3 地域計画策定のための事業		60,000	地域計画策定委員会の会議、住民アンケートの実施・分析作業等
4 環境整備事業		60,000	のぼり旗設置、地域一斉清掃活動、花いっぱい運動等
5 公益上必要な事業		50,000	総会、防災訓練等
6 対象外経費		15,000	見舞金等
支 出 合 計		300,000	

※「1 青少年健全育成事業」については、必ず実施してください。

# 実績報告書 記入例

様式第5号（第9条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金実績報告書

令和3年3月 日

提出日は  
3月中の  
日付にして  
ください。

熊谷市長 富岡 清 様

校区名 ○○○○校区連絡会  
住 所 熊谷市○○1-40  
会 長 熊谷 太郎 印

印は申請  
と同じ印  
を使用

くまがや市民まごころ運動推進奨励金について、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 交付金額 金 250,000 円

2 添付書類

- (1) 事業報告書（様式第6号）
- (2) 収支決算書（様式第7号）
- (3) 活動状況等を示す書類（写真等）

添付書類の(1)・(2)は  
所定の様式あり  
⇒P10、P11へ

添付書類の(3)では、事業の広報チラシや  
写真など活動状況が分かる資料を添付

# 事業報告書 記入例

様式第6号（第9条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金事業報告書

校区名 〇〇〇〇校区連絡会

月 日	活動名	場 所	活動内容	参加人数
年 間	こどもを見守る活動推進	学校前交差点 ほか14箇所	15箇所で、登下校中の見 守りを実施 1日平均60人×250日	年間250日 60人/日
〇月〇日	役員会議	公民館	総会準備、事業について等	10人
〇月〇日	総会	公民館	令和元年度事業決算 令和2年度予算等について	30人
〇月〇日	花いっぱい運動	学校周辺	歩道の花壇の花植え	50人
〇月〇日	地域内グラウンド・ゴルフ大会	小学校校庭	多世代の参加があり、地域 内で交流を深めた	100人
〇月〇日	夏休みこども教室	公民館	親子サイエンス教室 サマーキャンプ	100人
〇月〇日	役員会議	公民館	今後の事業について協議	10人
〇月〇日	防災訓練	小学校校庭	避難誘導訓練、炊き出し、 心肺蘇生訓練	200人
〇月〇日	スポレクフェスティバル 参加	スポーツ文 化公園	長縄跳び、グラウンド・ゴ ルフ参加	50人
〇月〇日	講演会開催	小学校	教育講演会開催 地域内で参加者呼びかけ	200人
〇月〇日	環境整備	地域内	地域一斉清掃 交通安全看板設置	100人
〇月〇日	総括会議	公民館	事業総括、次年度予定協議	10人
合 計			920 人	

# 収支決算書 記入例

様式第7号（第9条関係）

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金収支決算書

校区名 〇〇〇〇校区連絡会

収 入 （単位：円）

	項 目	決 算 額	説 明
①～⑤は 予算書 と同じ 項目を 記入	1 奨励金	250,000	市からの交付
	2 繰越金	20,000	前年度からの繰越
	3 寄附金	50,000	自治会等団体からの補助
	4		
	5		
		320,000	

奨励金対象経費（1～5）の合計額は、収入の「1 奨励金」と同額か上回るようにしてください。下回ると、その金額を次年度の交付上限額から差し引きます。

	項 目		決 算 額	説 明
①～⑥は 予算書 と同じ 項目を 記入	1 青少年健全育成事業		51,000	見守り活動、講演会、体験教室等
	2 地域ふれあい事業	奨 励 金 対 象 経 費	63,000	地域内グラウンド・ゴルフ大会、地区民体育祭、納涼祭、農業体験等
	3 地域計画策定のための事業		65,000	地域計画策定委員会の会議、住民アンケートの実施・分析作業等
	4 環境整備事業		62,000	のぼり旗設置、地域一斉清掃活動、花いっぱい運動等
	5 公益上必要な事業		55,000	総会、防災訓練等
	6 対象外経費		10,000	見舞金等
	支 出 合 計		306,000	

全ての領収書の合計が、支出合計と一致していることをチェック

監査結果報告

令和2年度の会計について、領収証、預金通帳、現金出納帳などを監査した結果、正確に処理されていることを認めます。

令和 年 月 日

監事 〇〇〇〇 ⑩

※監査日を記入してください。

監事 〇〇〇〇 ⑩

# 請求書 記入例

様式第8号

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金請求書

日付は記入しないでください。

令和2年 月 日

熊谷市長 富岡 清 様

校区名 ○○○○校区連絡会

住 所 熊谷市○○1-40

会 長 熊谷 太郎 印

印は申請と同じ印を使用

令和2年度くまがや市民まごころ運動推進奨励金について、次のとおり請求します。

1 請求額 記  
金 250,000 円

交付申請額を記入  
※交付申請書（様式第1号）の「1 申請額」を記入してください。

2 振込み先

金融機関名	支店	
(フリガナ) □座名義		
預金種類	1 普通	2 当座
□座番号		

## 【領収書の取扱いについて】

領収書は、奨励金交付額にかかるものとし、その取扱いは次のとおりとします。

- ①領収書は、「宛名」、「日付」、「金額」、「内容」、「発行者」が明記されたものを必須とします。
- ②領収書の宛名は「校区連絡会」としてください。
- ③謝金は、支払った相手から領収書をお願いしてください。謝金の領収書は「発行元名義」、「発行元住所」、「押印」を必須とします。
- ④領収書が発行できない経費は、原則として対象となりませんが、以下の場合は、領収書がある場合と同等の扱いとします。
  - ・スーパーやコンビニ等で支出した場合のレシート
  - ・インターネット通販等で領収書の発行が難しい場合は、内容の確認できる明細

**年**月**日	罫 印
〇〇校区連絡会 様	
金 <u>◇◇◇, ◇◇◇◇</u> 円	
但し*****として ○△□ 熊谷店	

## 【Q&A】

Q：今までは、実績報告書と併せて領収書も提出していたが、今後はその必要がないのか？

A：各校区とも、決算について監査が行われていることと思います。その場合、収支決算書に監事の署名があれば、実績報告書への領収書の添付は省略できます。領収書等経費についての証拠書類については、事業実施年度終了後5年間は校区連絡会で保管してください。

Q：令和元年度の実績報告書を提出する際は、領収書の添付は必要か。

A：省略可能なのは令和2年度からですので、令和元年度の報告の際には必要です。

Q：地域づくり応援事業として実施していた事業はどうなるのか。

A：まごころ運動推進事業で継続することもできます。まごころ運動の中で計画していただき、予算を立ててください。

## (2) 地域計画事業加算金について

### ①地域計画とは？

地域計画とは、平成26年度からスタートした制度で、自分たちの地域を今後どのような地域にしていきたいか、そのためにはどのような活動が必要かということについて、地域住民が自ら策定した5年間の校区連絡会の活動計画のことです。この地域計画を実施するにあたり、活動に不足する資金を地域計画事業加算金として交付します。

詳細についての個別説明会も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

### ②補助金額は？

1年度に100万円を上限に加算金を交付します。(5年間)

### ③補助の対象となる経費は？

<補助の対象となる経費>

◎地域計画の各事業の実施に必要な経費

例：備品購入費、消耗品費、印刷製本費、食糧費、交通費、謝金、燃料費、保険料、賃借料など

<補助の対象とならない経費>

◎校区連絡会の経常的な事業に要する経費、人件費、不動産取得費、公租公課等の経費、その他市長が不相当と認める経費

◎領収書が発行できない経費

### ④事業開始までのスケジュールは？

	内容	時期
1	地域計画実施に関する相談	随時
2	アンケートの配布と分析	地域計画の策定前に
3	地域計画の策定	
4	①地域計画書の提出 (アンケート分析結果、地域の目指す将来像、具体的な事業や事業実施期間を盛り込む) ②事業実施に係る事前資料の提出 (1年目に実施する事業の活動計画と予算)	事業開始前年度の9月末までに提出してください
5	地域計画書の広報 ⇒完成した地域計画書を校区内に配布します	地域計画書の採択後
6	事業開始	4月～

※アンケート・地域計画書の印刷は市で行います。